

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2019.5.1

No.177



平成31年市議会第1回定例会

一般会計200億8,000万円ほか
各会計の新年度予算案を可決

古井第二保育園にて

主 な 内 容

- ◆定例会の審議結果 …… 2～5P
- ◆平成31年度予算審査の概要
…………… 6・7P
- ◆委員会審査の概要
文教民生常任委員会 …… 8・9P
企画建設常任委員会 …… 9P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…………… 10～16P
- ◆活動ピックアップ・議会日誌
…………… 17P
- ◆お知らせ…………… 18P



定例会の審議結果



平成31年

第1回

定例会

一般会計200億8,000万円ほか各会計の新年度予算案を可決

市議会第1回定例会は、2月26日に開会し、3月20日までの会期23日間で開催しました。初日は、31議案を上程し、提案説明を行い、議第30号については、質疑、採決まで行いました。

3月6日、7日は、13人の議員が一般質問を行いました。3月11日には、各議案に対する質疑を行ったほか、議第31号を追加上程し、委員会付託を行いました。付託された各議案の審査のため、3月12日に予算決算特別委員会、13日に文教民生常任委員会、14日に企画建設常任委員会を開催しました。

3月20日には、各議案に対する委員長報告の後、討論（反対・賛成）、採決を行い、定例会を閉会しました。

新年度の
主な事業



活力

安心

教育

交流

健康づくり事業（1,070万3千円）

県の健康ポイント事業のポイント付与対象項目の拡充や、「歩く」ことにICT※をプラスした「ICTウォーク」により自主的な健康づくりを推進
※ICT：情報通信技術



防犯活動推進事業（2,506万1千円）

美濃太田駅周辺のほか、通学路にも防犯カメラを設置するとともに、自治会や商業団体等が防犯カメラを設置する費用への補助金制度を新設



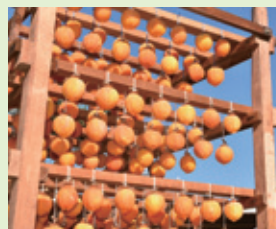
新産業集積地区整備事業（6,203万8千円）

新たな企業の誘致に向けた各種調査を実施するなど、誘致に向けた事業を推進し、雇用の場を創出することで、いきいきと働くことのできる活力あふれるまちづくりを推進



ふるさと農産物育成事業（360万円）

堂上蜂屋柿を次世代に引き継ぐために、加工技術の映像化やデータ化を実施するなど、新たな担い手を育成するための環境を整備



公立保育園施設管理運営事業（2億5,317万8千円）

保育園施設の総合的な管理運営による保育環境の整備を行い、保育内容の充実を推進。平成31年度は、新保育園の土壌等調査、接道整備測量などを実施



都市公園管理事務（7,102万円）

憩いの場として安全に公園を利用できるよう前平公園、井戸畑児童公園の長寿命化計画を策定するなど、快適で安全な都市公園を維持



小学校水泳授業民間委託事業（218万8千円）

山之上小学校の水泳授業を民間スイミングスクールで実施することで、施設の維持経費の削減と、より専門的な指導による実技授業の充実を推進



文化会館施設管理事業（2億9,623万4千円）

安全で快適に利用できる文化会館を維持するために、ホール棟の耐震補強工事や客席・トイレ改修などを実施



定例会の審議結果

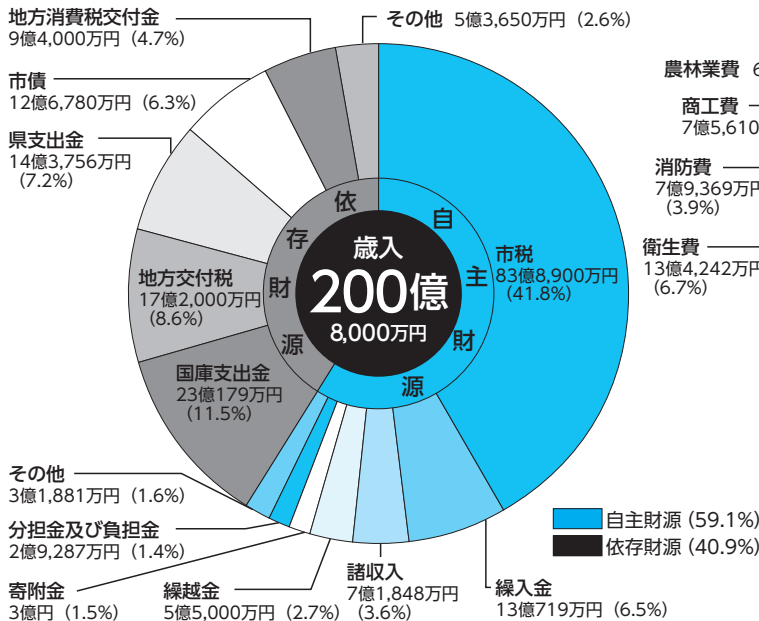
これからの超高齢化社会を迎えるに当たっては、「誰もが健康で安心して暮らせるまち」の基本である「健康」という視点が、ますます重要になるものと考えます。この「健康」とは、「体の健康」はもとより、「心の健康」、そして「社会の健康」といった私たちの日々の生活・活動を取り巻く環境すべてを幅広く対象としています。これらの視点を踏まえつつ、このまちがもっと元気に、そしてもっと健康になるためには、大胆な発想の転換や新たなチャレンジが必要であり、本市の強みを生かしながら、「体の健康」、「心の健康」、「社会の健康」について、それぞれ主要な施策に取り組んでまいります。

(新年度予算説明から抜粋)

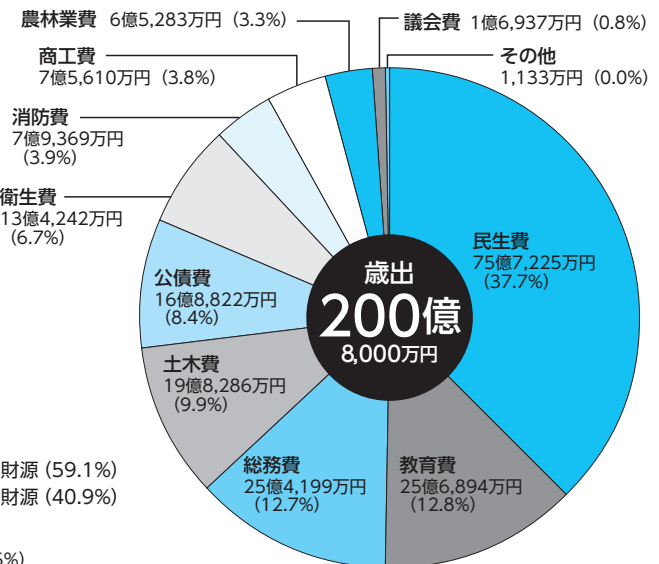


一般会計予算

一般会計予算の歳入



一般会計予算の歳出



※金額は万円単位を四捨五入、割合は小数点第2位を四捨五入しています。

議案の審議結果

賛否の分かれた議案

【表示記号】 議決結果：○…可決 ×…否決 賛否状況：○…賛成 ×…反対		議 員 名													
議案番号		議 案 名													
		主 要 な 内 容													
		議決結果													
議第19号	平成31年度美濃加茂市一般会計予算 予算総額200億8,000万円（前年度比－0.5%）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	平成31年度美濃加茂市国民健康保険会計予算 予算総額51億2,513万5千円（前年度比－1.5%）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	平成31年度美濃加茂市介護保険会計予算 予算総額38億8,398万4千円（前年度比－0.6%）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	平成31年度美濃加茂市後期高齢者医療会計予算 予算総額5億7,218万4千円（前年度比－4.2%）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



定例会の審議結果



議案の審議結果

全会一致で承認・可決された議案

議案番号	議 案 名	主 な 内 容
承第1号	専決処分の承認を求めることについて 平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第9号）	5,140万円の増額、予算総額は220億6,116万円 豚コレラ対応による職員の時間外手当、ふるさと納税による寄附金の増加に伴う増額補正
議第1号	美濃加茂市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例について	申請、届出その他の手続等に関し、インターネットの利用等オンライン技術により行うことができるようにするための基本事項を定める条例を制定するもの
議第2号	美濃加茂市人に優しいまちづくり基金条例について	人に優しいまちづくりを推進するために寄せられた寄附金を適正に管理し、効果的に運用することについて定める条例を制定するもの
議第3号	美濃加茂市犯罪被害者等支援条例について	市における犯罪被害者等の支援に関する施策に関し必要な事項を定める条例を制定するもの
議第4号	美濃加茂市防犯カメラの設置及び運用に関する条例について	公共の場所に向けられた防犯カメラの設置及び運用に関し必要な事項を定める条例を制定するもの（詳細は5ページ）
議第5号	美濃加茂市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	教育委員会の附属機関として美濃加茂市教育振興基本計画策定委員会を位置付けることについて所要の改正を行うもの
議第6号	美濃加茂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	会議が長時間となった場合を想定し、非常勤特別職の報酬の額を見直すため、所要の改正を行うもの
議第7号	美濃加茂市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、災害援護資金の貸付利率を条例で規定することとなるため、所要の改正を行うもの
議第8号	美濃加茂市都市公園条例の一部を改正する条例について	都市公園法施行令の改正に伴い、都市公園に設ける運動施設の敷地面積の基準を条例で規定することとなるため、所要の改正を行うもの
議第9号	美濃加茂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	働き方改革に伴う民間労働法制の改正を踏まえ、超過勤務命令を行うことができる上限等を定めることができるよう所要の改正を行うもの
議第10号	美濃加茂市手数料条例の一部を改正する条例について	手数料を徴収する事務に土地地番図の閲覧及び写しの交付を追加することに伴い、所要の改正を行うもの
議第11号	美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第12号	美濃加茂市特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例の一部を改正する条例について	建築基準法の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第13号	美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	みのかも健康の森内に設置したワイヤー遊具の本格稼働に伴い、利用料の上限を規定するため、所要の改正を行うもの（詳細は5ページ）
議第14号	美濃加茂市議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例について	総合計画の策定に当たり、基本構想及び基本計画の策定及び改廃を議決すべき事件とすることに伴い、所要の改正を行うもの
議第15号	美濃加茂市ふれあいサロンの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	ふれあいサロン福寿草の閉鎖に伴い、条例を廃止するもの
議第16号	平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第10号）	1億7,325万7千円の増額、予算総額は222億3,441万7千円 長良川鉄道経営安定支援事業、障害者自立支援給付費等負担金の精算、福祉医療費の助成の増加、風しん抗体検査の実施、地籍調査委託事業などの増額補正
議第17号	平成30年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第3号）	176万3千円の増額、予算総額は52億9,058万6千円 国民健康保険財政調整基金にかかる利子配分額を、全額基金に積み積み増しすることによる増額補正
議第18号	平成30年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第3号）	97万9千円の増額、予算総額は42億3,747万1千円 介護給付費準備基金積立金にかかる利子配分額を、全額基金に積み積み増しすることによる増額補正
議第23号	平成31年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計予算	予算総額4,173万3千円（前年度比+19.0%）
議第24号	平成31年度美濃加茂市古井財産区会計予算	予算総額141万円（前年度比+24.9%）
議第25号	平成31年度美濃加茂市山之上財産区会計予算	予算総額122万9千円（前年度比+15.7%）
議第26号	平成31年度美濃加茂市水道事業会計予算	予算総額23億3,000万6千円（前年度比+8.0%）
議第27号	平成31年度美濃加茂市下水道事業会計予算	予算総額42億6,273万8千円（前年度比+0.7%）
議第28号	財産の無償譲渡について	ふれあいサロン福寿草の廃止に伴い、建物を無償譲渡するもの
議第29号	市道路線の認定について	市道新池692号線ほか4路線の認定
議第30号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の任命同意（矢島良子氏 再任）
議第31号	和解について	地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づく和解の決定

定例会の審議結果

クローズアップ

議案



議第4号 美濃加茂市防犯カメラの設置及び運用に関する条例

議案の概要

防犯カメラは、設置が犯罪の予防につながることや犯罪の解決に役立つことなど、その効果は一般的に認められている。しかし、その一方で、防犯カメラにより個人の権利利益が侵害されていると感じる人もおり、その設置や運用については、撮影される人へ十分に配慮する必要がある。このようなことを背景として、本市では、その有用性を認識しつつ、公共の場所に向けて設置した防犯カメラの設置及び運用に当たって、設置者等の責務を明らかにして、市民等の権利利益の保護を図り、安全に安心して暮らし続けられるまちの実現に寄与することを目的として条例を制定するもの。

議第13号 美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要

みのかも健康の森に新たな森林空間の活用と来園者の増加に取り組むことを目的として、ワイヤー遊具を設置し、平成31年度からの本格稼働を前に、遊具の利用料金を1回当たり1,500円以内と設定するもの。



ジップライン



スイングロッド



ハーフUロープ



バランスパッセージ



ネットトンネル



ログバランス



スイングスイング



パペットクロッシング



ジップライン



ネットウォーク

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・市民でありながら傍聴したこともなかったが、市政にもっと興味をもつべきだと思いました。
- ・子育て支援の話も聞きたかった。
- ・火災放送をなぜ中止するのでしょうか。消防団員やコストだけの問題ではないと思います。広く情報を出すことが重要だと思います。
- ・新池町地区の商業施設や市庁舎建設と駅周辺の発展と並行して市民の体の健康と心の健康についても考えて、実施してもらえたいことを知り安心しました。
- ・子連れでも議会を傍聴できると聞き参加しました。自分の住むまちのことを身近に感じることができました。もっと広く女性、子供連れも参加できることをアピールすべきだと思います。
- ・新庁舎建設地について数人の議員の方から質問意見等出されていました。安全性、経済性、建設費（土地代等）十分検討して、市民が納得できるようにお願いします。

平成31年度予算審査の概要

全議員で構成する「予算決算特別委員会」が、一般会計など各会計の予算について、前年度との比較や新規事業の内容、また、議会による事業評価（議会からの提言）が反映されているのか、慎重にチェックしました。

《市一般会計予算》

問 市庁舎等施設管理・改修事業について、駅前ビルへの移転の詳細とその必要性は。

答 平成30年度に借りている1階に引き続いて、2階の約半分を10月以降に新たに借用し、地域振興課多文化共生係と、まちづくり課を31年度下半期以降に移動する計画である。多文化共生係は、今後さらに多文化共生の拠点施設として機能強化を図るため、また、まちづくり課については、市民活動サポートセンター機能と連携して、市域全体のまちづくりを一層強化するために執務室の移動を考えている。

問 バス路線対策事業について、あい愛バス地域支線運行負担金だけでも1億2,600万円ほどで、全体では、市民1人当たり3,000円近くとなるが、妥当と考えているか。

答 平成29年10月に、できる限り多くの意見を聞き、路線やダイヤなどを作成したが、運行事業者の採算を計算した結果、その程度のコストをかけてでも公共交通を充実させていく必要があると判断した。



あい愛バス

問 防犯活動推進事業の防犯カメラのリース台数は。

答 100台分を見込んでいますが、予算の範囲内であれば、それ以上でも対応できると考えている。

問 古民家活用事業※について、今後の活用の見通しと、その手応えは。※伊深町の櫻井邸

答 平成30年度に、8事業者に見学いただいた。行政のソフト面でのサポートや住民との関係性、さらに地域の付加価値を高めるといった姿勢が非常に重要との意見をいただいた。まずは、しっかりとした計画を練ることに専念したい。

問 庁舎建設基金積立金について、1億250万円が計上されているが、少ないのではないか。

答 当初は、平成36年度までに20億円を目標として見込んでいたが、財政上、毎年3億円程度積み立てることは難しく、36年度に10億円程度になる予定である。金額としては少ないため、できるだけ民間活用やPPP／PFI※といった手法を取り入れて庁舎の整備費用の削減に努めていきたい。※PPP：官民連携 PFI：公共施設等の建設、維持管理等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法

問 みのかも定住自立圏推進事業について、第3次共生ビジョンの全体の方向性をどう検討しているのか。

答 まず、取り組むべき具体的な分野、事業を絞り込み、明確にビジョンを位置づける。圏域に住む皆さんが定住自立圏の取り組みを実感できるような事業を周辺町村と一緒に行っていきたい。特に健康、未来の人づくり、公共交通、防災、外国人定住などを柱としていきたい。

問 健寿会活動事業の今後の方向性は。

答 地域の高齢者が互いに交流を深め、有意義な生活を送るために組織された単位老人クラブの活動及びその健寿会活動の支援等をするもので、会員数は年々減少しているが、関係者と事業の内容等も鑑みながら相談していきたい。

問 新保育園整備アドバイザーの詳細は。

答 PFIを導入して新保育園を建設するに当たり、その設計、仕様書の作成等を委託するものである。新保育園の建設に当たる費用としては、このほか、土壤等調査、新保育園接道整備測量設計が計上されている。

問 食物アレルギー対応給食提供事業補助金の詳細は。

答 アレルギー対応の給食を提供するための調理員の人件費として補助するもので、私立5園分の予算を計上している。公立保育園については、こども課で運営しているため補助金はない。アレルギー対応については公立の全園で行っているが、中には自宅からの弁当を希望される方もいる。

問 低年齢児年度途中受入促進補助金の詳細は。

答 年度途中の園児増にも対応できるようスタッフ、保育士を確保しておくために必要な経費に対す

予算審査の概要

る補助である。

問 風しんワクチン接種の詳細は。

答 全国的に統一された内容で実施されるものであり、3年間の事業として行い、初年度には最も罹患しやすい年齢の方を優先的に実施する予定である。また、対象者台帳を作成し、実施者を把握する。

問 有害鳥獣捕獲対策謝礼についての概要は。

答 猿及びカラスの捕獲に対する報償費を増額するものである。イノシシについては同額であるが、AIを使った学習する「おり」を1台導入し、複数のイノシシを捕獲できるかを検証したい。



捕獲されたイノシシ

問 農事改良組合謝礼の詳細と組合の現状は。

答 農事改良組合が87団体あり、転作等に使う書類を随時配っていただく謝礼である。組合は平成30年度に1団体解散している。今後は、特に農業振興など、組合の継続を模索していきたい。

問 姫biz戦略事業において、FAAVO美濃國の実績及び現状は。

答 平成29年度実績は、相談件数が486件、160の方が対象で、そのうち市内の方は33人である。また、最終的に12件起案され、そのうち3件が市内の方の起案である。また、30年度実績は、346件、108人、うち16人が市内の方である。起業に当たっては、資金面の課題が出てくることもあるが、相談することで、内容、企画自体が精査されていくため、起案に至らなくても、効果は非常に大きいと考えている。相談件数は若干縮小しており、その要因として、ほかの選択肢が増えている状況がある。このFAAVOは地域特化型のクラウドファンディングで、それぞれのニーズに合わせて行っている。

問 美濃太田駅周辺市街地整備基本構想策定の詳細は。

答 具体的に区域は決めておらず、基本構想の中で決めていく。今後、設立予定である地元地権者を中心とした再開発組合は、「創造とノスタルジア Minokamo」計画を提出した「美濃太田駅前を考える会」の勉強会に10名前後の方が参加されており、

その規模の組織になる見込みである。

問 学校施設長寿命化計画策定事業について、学校施設の配置計画は。

答 教育委員会だけでなく、市長部局の担当部門と十分意見を交換しながら考えていき、教育振興基本計画を念頭に置いて策定する。また、地域の様々な生活、あるいは地域の活性化も含め、様々な視点から総合的に考えていく。

問 特色ある学校づくり補助金の効果を検証しているか。

答 一律で各学校に渡しているのではなく、毎年、教育委員会事務局と各教育委員が査定をした結果で、各学校の配分を決定する。報告会もあり、各学校がどんな取り組みをし、予算執行したかということも審査している。

問 小学校水泳授業民間委託事業について、教育現場から授業を民間へ委託することの考えは。

答 教育の手法は様々で、地域の方々の力を借りて授業を行うことを奨励している。授業計画は学校主体で、指導要領に定められたやり方で連携をとって進めていくため、授業としては特に問題はないと考えている。

《市国民健康保険会計予算》

問 国民健康保険料の予算編成に当たり、加入者数をどう算定しているか。

答 財政運営主体である県が算定した国保事業納付金に係る指数では、平成31年度は、1万872人で6,179世帯としている。

《市介護保険会計予算》

問 生活支援体制整備事業で、生活支援コーディネーターが、平成31年度は、所属を高齢福祉課に変更した理由は。

答 これまでは離れた場所から随時、報告や打ち合わせ等を実施していたが、より身近なところで、よりスピーディーに効果的に事業を推進したいと考え、派遣という形をとった。

《市水道事業会計予算》

問 断水対策事業の配水管等の布設の見通しは。

答 森山配水池から、森山浄水場を経由し、下米田配水池に向かう配水管の整備については、平成31年度に完了する予定である。それ以外の配水経路及び下米田配水池の増設等については、平成31年度に施行予定の安定給水検討業務の中での検討になる。



委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額。

文教民生常任委員会

《市人に優しいまちづくり基金条例》

◆人に優しいまちづくりを推進するために寄せられた寄附金を適正に管理し、効果的に運用するため、基金を設置するもの。

問 「子どもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄れる場所の整備に関する事業」の具体的な内容は。

答 子ども食堂や子どもの学習支援の教室の開設、また、サロンなど高齢者が集える場の充実といった、年齢に関係なく交流できる場を創出していきたい。

問 この基金をどのように活用していくのか。

答 寄附者の意向を配慮し、迅速に事業を進めていきたい。



寄附者の伴野富男さん(左)と伊藤市長

《市ふれあいサロンの設置及び管理に関する条例を廃止する条例》

◆ふれあいサロン福寿草を閉鎖するもの。

問 現在の利用者が閉鎖に納得されているのか。

答 現在、12名の方が利用されている。その方々に対して、平成30年12月に説明会を実施し、個別的な説明を希望された方には家庭訪問により、家族の方を交えて説明している。

問 通所されていた方は、閉鎖後どのようにされるのか。

答 現在、利用者の方は、こちらのサロンを3月末まで継続利用され、要支援・要介護と認定された方は、4月以降、それぞれ希望される通所介護の事業

所、通所リハビリの事業所等を選択される予定である。

問 要支援・要介護に認定されない方の受け皿がなくなるについて、どう考えるか。

答 認定申請をされていない方の行き先は、地域のふれあい・いきいきサロンや、介護予防教室の修了後、自主サークルとして活動しているグループへの参加など、それぞれご自身のニーズに応じた通いの場があると判断している。また、事業者であるNPO法人花時計の宅老所の事業を継続利用される意向の方もいる。

《平成30年度市一般会計補正予算(第10号)》

◆長良川鉄道経営安定支援事業(1,560万4千円)

問 長良川鉄道経営安定対策補助金の内訳は。

答 経営の損失補填分が1,397万2,000円、災害復旧負担金が、163万2,000円である。

問 今後、経営安定化に向けて、どのような対策をされるのか。

答 運行区間の短縮や上下分離方式など、長良川鉄道の経営や運営のあり方などを検討していきたい。

◆予防接種事業(1,077万5千円)

問 風しん抗体検査について、予防接種を受けるまでどうつなげていくのか。

答 4月以降の案内によって抗体検査を受け、医療機関の結果説明により十分な抗体がないと判断された方には、予防接種を受けていただく流れとなっている。

◆太田小多目的トイレ整備(△1,620万円)

問 整備する目的は。

答 車椅子の方にも対応し、外からも出入りできるようにすることで、災害時の利用も可能とするためである。

問 平成30年度中にトイレ整備が行えなかった理由は。

答 国の補助金が見つからないとわかったため、平成30年度は予算執行を見送った。なお、長寿命化計画を策定したことにより、有利な起債が活用できることとなったため、これを活用し、平成31年度にトイレを整備していく。

委員会審査の概要

《財産の無償譲渡》

◆平成30年度末に事業を終了し、事業拠点として市が施設整備した「ふれあいサロン福寿草」を無償譲渡するもの。

問 譲渡する建物の今後の使い道は。

答 現在、宅老所を行っている、NPO法人花時計と一体的に高齢者の方々を含めた地域福祉に役立てていただけるような事業を予定している。

企画建設常任委員会

《市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例》

◆市の機関等に係る申請や届出等に関し、オンライン技術により行うことができるようにするための基本事項を定めるもの。

問 「情報通信の技術の利用における安全性及び信頼性を確保すること」について、努力義務でよいのか。

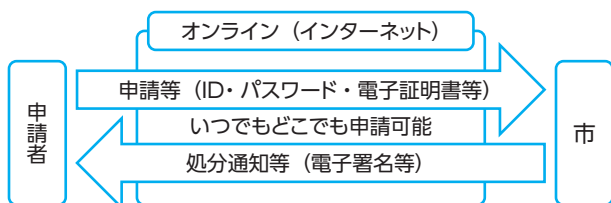
答 「努めるものとする」と規定しているが、情報漏えいは必ずないよう万全のセキュリティを整える。

問 今後どのような手続をオンライン化するのか。

答 特別徴収分の市民税の税額決定通知については、税務課で実施に向けて準備をしている。なお、運用開始に向けて、関係する部署で協議をしている。

問 申請者の料金負担があるのか。

答 現在、手数料条例等で発生している手数料等を除けば、オンライン化によって、新しく手数料を徴収することは考えていない。



《市犯罪被害者等支援条例》

◆市における犯罪被害者等の支援に関する施策に関し、必要な事項を定めるもの。

問 犯罪被害者等支援に係る研修について、どのような人を研修対象としているのか。

答 相談を受ける市の職員や、民間で犯罪被害者を支援する民生委員や医療機関の医師等が対象になると考えている。

問 研修の形態及び年間どれくらい研修を行うのか。

答 (公社)ぎふ犯罪被害者支援センターの職員に

よる講座での研修を考えている。研修の回数については、各自治体が行ったり、広域的に行うこともあるため、回数を決めているものではない。

《市防犯カメラの設置及び運用に関する条例》

◆詳細は5ページ

問 個人で防犯カメラを設置した場合は、この条例の対象とならないのか。

答 公共の場所を撮影し、犯罪の予防を目的としているため、個人が設置した防犯カメラで、個人の敷地内の防犯上の対策をするものについては、この条例の対象としていない。

問 「防犯カメラの設置台数をこの条例の目的に照らして必要最小限の台数とする」となっているが、必要最小限の基準はあるのか。

答 明確な基準はないが、防犯カメラを必要とする場所の広さの中で、防犯カメラの設置が過度にならないようにするものである。

問 「市長は、指導に従わないものに対し、期限を定めて、指導に従うよう勧告することができる」となっているが、この期限はどのくらいか。

答 2週間を考えている。

《市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例》

◆附属機関の会議等が長時間となった場合にも対応できるよう、非常勤の特別職職員の報酬を見直すもの。

問 報酬の金額の引き上げの根拠は。

答 今まで各種委員会の会議は、おおむね1時間から半日程度で終わっており、日額5,500円と定めていたが、会議が1日かかる委員会も出てきたことから、今回、1日かかるような会議に出席いただく場合にも対応し、半日5,500円、1日1万1,000円という金額とした。

《平成30年度市一般会計補正予算(第10号)》

◆財政調整基金積立金(1,348万6千円)

問 財政調整基金の残高は。

答 平成31年3月31日現在で、残高が40億5,565万8,000円になる見込みである。

◆地籍調査委託事業(904万円)

問 地籍調査の進捗状況は。

答 平成24年度から伊深地区が始まっており、平成30年度末で、市全体のエリアとして約19.6パーセントが整備済みとなる予定である。

市政一般に対する質問と答弁

13人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらもご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



高井厚議長

■美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

■視聴方法

トップページ

会議名から選ぶ

平成31年第1回定例会

3月6日または7日 市政一般に対する質問

■会議録検索システム

<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



渡辺義昌 議員

新庁舎整備

問 新庁舎整備地は、市有地が5,300㎡しかなく、床面積確保は可能か。

答 市有地に建設する案、民間ビルを間借りする案、これら両方の案の組み合わせなどにより、必要な床面積を確保することは可能であると考えます。

また、市有地のみで整備する場合でも、美濃太田駅周辺の市有地は、商業地域や第二種住居地域内に所在しており、建ぺい率や容積率が高い地域もあるため、想定している市庁舎の床面積8,800㎡の確保は可能である。

問 最終答申までのスケジュールは。

答 平成31年度から、新庁舎に持たせる機能や床面積、規模などについて、庁内及び未来のまちづくり委員会で協議を行い、平成31年10月を目途に、最終答申をいただく予定である。

問 具体的な建設地は。

答 今後、新庁舎整備基本計画の策定を進めていく

が、その中で具体的な建設地について検討を行う予定である。パブリックコメントや住民説明会での意見を集約し、平成31年度中の計画策定を目指している。なお、庁舎の具体的な位置については、条例で定める必要があり、議会の議決を得て決定する。

水道事業の民営化

問 本市の水道事業の経営状況は。

答 平成29年度決算においては、流動比率が約581%、自己資本構成比率が約90%となっているなど、安定した経営状況である。

問 将来の経営状況についてはどうか。

答 今後は老朽管対策や施設更新に対する投資の増加と給水人口の減少による収益の減少が予想される。現行の水道料金を維持した場合、平成67年度までは損益が赤字とならない見込みである。その後は、更なる人口減少による収益の減少や施設に対する投資の増加も見込まれるので、厳しい経営環境になると予想される。更なる経営の効率化を図り、水道料金の見直しなども含めた財源の確保を検討して安定経営の維持に努めていく。

問 水道事業の民営化はありうるか。

答 現在のところ全く考えていない。引き続き安全な水を安定供給できるよう努めていく。

市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹 議員

新庁舎建設

問 市長からの諮問を受けて、未来のまちづくり委員会が平成30年8月から5回の審議を経て、平成31年2月12日に中間答申を市長に出した。その中で、新庁舎の整備地として、美濃太田駅周辺が最適であるとしている。未来のまちづくり委員会にも議員にも、正確かつ市民へも説明できるデータ及び資料が提出されているとは思えない。従って、具体的な庁舎の姿が浮かんでこず、美濃太田駅周辺が最適か判断のしようがなく、大いに検討の余地ありという立場で市執行部の考えを伺う。

執行部は総合政策審議会で話し合われたとのことだが、美濃太田駅周辺が最適ということになったか。

答 未来のまちづくり委員会からの答申を尊重することに決定した。

問 木曽川堤防決壊時の浸水区域（約0.5m未満）に入っているが安全か。

答 今後、新丸山ダムの整備により洪水浸水区域の範囲は大幅に改善されるものと予想される。

問 十分な広さの土地があるか。

答 市商業ビル1,700㎡、商業ビルの第1駐車場1,100㎡、第2駐車場900㎡、第3駐車場1,600㎡があり、周辺には多くの駐車場や空き地がある。

問 駅に近く、にぎわいが創出できるとしているがどうか。また、車での方が多いことを考えると、立ち寄りやすいとは思えないが。

答 鉄道はもちろん、民間バスや近隣市町の大学等への通学バスも駅から運行されている。まちなかのにぎわいや利便性が高まれば、更に若い世代をはじめ、より多くの人が集まることが期待できる。また、公共交通機関の利用が増えることに繋がることから、立ち寄りやすい立地条件と考える。

問 市民の声の取り上げは十分か。

答 平成29年度、新庁舎整備基本構想策定委員会を6回開催し、「市民ワークショップ」や「おでかけワークショップ」、市民アンケートなどの意見を反映してきた。平成30年度に入り、4つの候補地からより専門的な知見で判断していくために、未来のまちづくり委員会を設置し、中間答申を受けたので市民の声が反映されていると思う。



前田 孝 議員

新池町地内に進出の複合商業施設

問 複合商業施設の概要は。

答 開発面積は24,560㎡で、店舗数はスーパー「アルビス」を代表にフィットネスクラブ、メガネ、スイミング、コーヒーショップ、ファミレス、コンビニ等の9店舗である。

問 農地（水田）の宅地転用に伴う排水対策は。

答 この開発事業は、都市計画法の開発許可の基準等に基づいて、下流排水路の流下能力を超えないよう開発区域内に5基の調整池を設置している。

問 商業施設付近は、交通量増加が予想されるが安全対策は。

答 この区域はゾーン30エリアとなっており、時速30キロの速度制限や大型車の通行規制を行っている。

問 施設の南側に接している市道新池162・366線の拡幅や排水路への蓋の「伏せ越し」等の対策は。

答 排水路沿いにガードレールが設置されており、安全対策は行われている。

水道法の一部を改正する法律の施行

問 改正の主な内容は水道事業の民営化にあるのか。

答 官民連携の施策の一つとして民営化が取り上げられている。市は、民営化は現在全く考えていない。民間参入のメリットは資金の調達力、技術力などを生かした経営の改善等である。デメリットは導入後の監視体制や採算重視による料金の値上げや水質の不安がある。

新庁舎建設地選定

問 「未来のまちづくり委員会」からの候補地の選定中間答申結果は。

答 2月12日に委員会から整備地として「美濃太田駅周辺」を選定したと中間答申を受けた。選定に当たって「新庁舎に求める6つの立地条件」や「新庁舎を活かしたまちづくりに求められる4点」など7項目の指標をまとめ、7つの評価項目を点数化した結果「美濃太田駅周辺」が最も高評価となった。

問 中間答申について「広報みのかも」3月号に掲載され、市のホームページに閲覧できる旨報告されているが、市民には十分経過など知らされていない。知らせるべきでは。

答 今後の審議データ等については周知する。

市政一般に対する質問と答弁



片桐美良 議員

防災行政無線による火災放送中止

問 火災放送を中止する理由は。

答 機器の更新費用が必要である。放送の都度苦情等も寄せられる。また、情報伝達はメールも可能であることも判断材料とした。

問 可児市は火災放送を中止する方向だが、加茂郡の各町の判断は。

答 加茂郡は各町とも現状維持の予定である。

問 火災発生時の地域協力をどう捉えているか。

答 初期対応における地域の皆様のご協力は、不可欠と考え今後もご協力いただきたい。

問 火災発生時の初期対応に地域の方の協力が不可欠と考えるなら、なぜ火災放送を中止するのか。

答 メールでの配信がある。また、消防車が来ることで火災がわかる。

問 「すぐメールみのかも」の火災情報登録者数は。

答 平成31年1月現在の登録数は7,450名である。

問 火災発生時にメールと分団長への電話で、今ま

でと全く同じように団員参集できると考えるか。

答 消防署からと市民メールの二重配信と電話連絡で参集は可能である。

問 この1年間に火災放送の代替え方策の検討内容は。

答 「すぐメールみのかも」の他に有効な代替え方策は、考え付かなかった。

問 今後における防災行政無線運用は。

答 デジタル化に向けての方向性は変わっていない。現在、具体的な検討資料の作成に入っていて、早急に庁内で方向性を決定する。

美濃加茂サービスエリア

問 営業時間の拡充は。

答 管理者によると、事業の採算性が見込まれると判断した場合には、その拡充も検討していく。

問 ここだけの土産品、レストランメニューの充実策は。

答 売店では「美濃加茂コーナー」を設置し、展示販売を行っている。今後も、レイアウトの変更も行って、特色を出していく。

問 一般道からの誘客する方策を。

答 高速自動車国道路法で制限されており、許可は難しいが、その可能性について、さらに、研究していくことが必要である。



柘植宏一 議員

第6次総合計画

問 6次総策定においては、議会の意思として、基本構想だけでなく基本計画も議会の議決に付することとなり、基本構想は6月議会で、基本計画は9月議会で上程される予定である。

基本構想における重要政策として、健康増進、多文化共生、女性・若者活躍、防災減災、都市整備、産業振興とした理由は。

答 持続可能なまちづくりを実現するために、戦略的に集中して取り組むべき政策であり、市の地域特性や課題、取り巻く環境の変化を見据えて選択した。

問 基本構想に含まれる事項は何か。

答 将来ビジョン、ま



ちづくり方針、6つの重要政策などであるが、基本計画も議会の議決に付する必要があることから、6月議会において基本構想だけを上程するか決めたかねているところである。

教育振興基本計画

問 KPI（数値目標・評価指標）としていじめや不登校を指標にできないか。

答 いじめに関しては解消率も高く順調に取り組んでいるが、不登校に関しては増加しており、SNSの普及など健康面からも考慮しながら指標として取り入れていきたい。

災害時協力協定

問 建設関係の協力団体に未加盟な業者との協定締結も災害時対応として有効と考えるが。

答 協力会への参加企業の増加や組織力強化については、市としても切にお願いしたい点であり、昨今、建設業者の人手不足などが大きな課題といわれているので、協力体制の構築に向けて、建設防災協力会や建設業者に協力をお願いしていきたい。建設業者の方々に新たに団体を立ち上げ、市と協定を結ぶということがあれば非常に良いことだと考えている。

市政一般に対する質問と答弁



森 厚夫 議員

新庁舎建設

問 新庁舎候補地の比較、選定は。

答 現庁舎の課題として、「老朽化や耐震の脆弱性」「施設の狭あい性」「防災機能の不足」「親しみやすい空間の不足」「まちづくりとの関連性の不足」の5項目が上げられる。

新庁舎をまちづくりの拠点として、従来の市役所という概念のない、市民の拠りどころとなる場所の形成に繋げていきたいと考える。

問 LCC（ライフサイクルコスト）の算出方法は。

答 初期整備費用を算定する際に、4カ所の候補地に直接建設方式で建設した場合の費用を試算したものである。

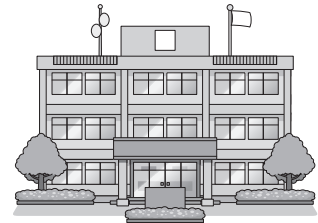
仮設庁舎関係費用の7億1千万円は、仮設庁舎の建設費、解体費及び設計費について、リース会社の見積額を参考に計上している。既存ビルの解体費用の2億9千万円は、過去の工事実績から算出した床面積の1㎡当たり解体費40,716円に、床面積7,200㎡

を乗じた金額を計上している。

土地取得費の6億8千万円は、エリア内の路線単価の最高額を参考とし、1㎡当たりの取得費67,571円に、必要面積1万㎡を乗じた金額を計上している。

造成関係費の8億3千万円は、取付道路を含む工事費、基礎杭費、上下水道工事費、雨水管工事費及び設計調査費が計上

されており、敷地面積1万㎡を確保するものとして、概略設計を行い、過去の工事実績から算出した金額となる。



新年度重点施策

問 新年度重点施策の「活力」に掲げられた、市街地再開発事業の計画の内容は。

答 美濃太田駅周辺を都市機能誘導区域として、商業・医療・福祉・住居などを誘導して市街地を活性化したいと考えている。

市街地再開発事業には交付金の助成など国、県の支援制度もあり、有効に活用しながら事業を進めていきたいと考えている。



酒向信幸 議員

森林環境税・森林環境譲与税

問 県では森林・環境対策の緊要性から、豊かな自然環境の保全と再生に向けた取組みを推進するための費用として「清流の国ぎふ森林・環境税」を平成24年度から導入した。本市における7年間の事業の成果・効果と今後の展望は。

答 本市における「清流の国ぎふ森林・環境税」については、「里山千年構想」を掲げて、平成26年度から、計画的に、里山整備事業等を実施するために活用してきた。成果としては、有害鳥獣対策において、農産物の被害額が、平成26年度に、5,778万8千円であったものが、平成29年度は、4,460万7千円となり、約2割減少している。

依然として、大きな被害額であるので、今後とも、県の森林環境税を活用して、着実に里山整備を進め、その減少に努めていくことを考えている。

問 平成31年度から森林環境譲与税により一旦集められた税を間伐などを実施する市町村やそれを支

援する都道府県に客観的に譲与され、各事業に充てられる。本市が抱える森林の課題・問題点と今後、取り組むべきことは何か。

答 本市が抱える課題としては、まず、侵入竹林の拡大等、森林の荒廃に伴う有害鳥獣被害の増加で、農作物の生産に対して、深刻な影響が発生している。また、適齢期が過ぎた広葉樹や、間伐されずに管理されない針葉樹の増加に伴う森林の荒廃により、広く、国土保全や水源の涵養等、その機能が失われている。さらに、不明や無関心な森林所有者等、森林の整備や維持管理を行う、担い手の不足であり、新たな、森林経営システムの策定が必要となっている。

今回の森林環境譲与税（国版）を活用した事業については、まず、市内全域約3,000haの森林所有者に対し、森林管理に対する意向調査を実施したいと考えており、その結果を踏まえて、順次、経営管理権集積計画を策定し、森林整備及び担い手の育成や木材利用の促進を図っていく予定である。



市政一般に対する質問と答弁



坂井文好 議員

2025年問題

問 本市における高齢者（65歳以上）人口とその割合は、2025年にはどうなるか。

答 平成31年2月1日現在の美濃加茂市の総人口は57,007人、そのうち65歳以上の高齢者人口は12,929人、高齢化率は22.68%で、2025年には23.3%になると推計される。

問 団塊の世代が後期高齢者となる2025年対策は。

答 後期高齢者になると、疾病のリスクや要介護（要支援）のリスクが高まる。現在に比べ、2025年の要介護認定率は17.4%へ2.2%上昇し、介護（予防）給付費は1.44倍になると推計される。そのため、市民自らが健康づくりや介護予防に取り組み、健康でいられる期間や介護を必要としない期間を少しでも長く継続させることが重要である。

疾病予防では、糖尿病重症化予防プログラムに取り組み、また、後期高齢者を対象に「おたっしや健診」や「ぎふ・さわやか口腔健診」などを実施して

いる。介護予防では、認知症の予防に力を入れ、各地区にてコグニサイズを主体とした予防教室を開催している。

保健事業と介護予防事業の一体的体制の整備、さらには関係部署や関係機関との連携強化を図り、医療費や介護給付費の抑制に努める。

ふれあい・いきいきサロン

問 行政と社会福祉協議会との連携と役割分担は。

答 ふれあい・いきいきサロン事業は、地域住民が主体となり、「交流」や「仲間づくり」を目的とし、ともに支え合うことのできる地域づくりを目指し、平成15年度にスタートした。現在、市内38カ所でサロン活動が実施されている。社会福祉協議会は、看護職の派遣やサロンの研修会・交流会、レクリエーション物品の貸出やサロン保険加入手続、活動費の補助等により、その活動を支援している。市は、サロン活動を高齢者の交流の場、社会参加の場と捉え、地域介護予防活動支援事業として社会福祉協議会の活動を支援している。高齢福祉課と協議の場を設け、サロン活動が活発化できるよう意見交換をし、連携を図りながら支援している。活動の継続には、サロン活動の担い手が課題である。



森 弓子 議員

樹木葬（公営の共同墓地）

問 新火葬場が完成したが、市営墓地の現況及び公営の共同墓地の考えは。

答 前平霊苑は、墓地区画として1,365区画あり、その内1,303区画が利用され、空き区画は増加傾向で現在62区画ある。今後、少子化や核家族化等により墓地の管理や継承ができない等、市民から共同墓地の要望が高まると見込んでいるが、状況に応じて各種関係機関との協議を始めたい。

観光・インバウンド対応

問 ぎふ清流里山公園に外資系大手のホテルが建設されるが、その対応は。

答 今回のホテルグループは、1億人以上の会員があり、本市の魅力を全世界に発信できると考えている。全国15カ所に、同時期にオープン予定で、本市にとって、絶好のチャンスであると捉えている。新年度に、インバウンドに向けた準備を始め、体験プロ

グラムやキャッシュレス化等に取り組んでいきたい。

問 インターチェンジ周辺地域の特定用途制限地域の見直しをすべきでは。

答 市では、インター周辺の土地約168ヘクタールを一定規模以上の工場や店舗、事務所、その他、ホテル、遊戯施設、風俗施設、倉庫、畜舎の建築ができないよう制限をしている。この地域の重要性を十分認識しつつ、この特定用途制限の内容を地域住民の皆さんの意見を聞きながら緩和する方向で見直ししていきたい。

津田左右吉博士顕彰会事業

問 早稲田大学の津田博士記念室のリニューアルに際して、津田左右吉賞をアピールし、連携をさらに深めては。

答 この事業は、小中学生を対象に「夢」をテーマに作文を募集しており、毎年600件ほどの応募があり、次回35回目を迎える。早稲田大学のホームページなどで、本市の顕彰事業を紹介していただけるよう働きかけていく。



津田左右吉博士

市政一般に対する質問と答弁



金井文敏 議員

フレイルチェックの導入

問 本市のフレイルについての考えは。

答 高齢になって筋力や活力が衰えた虚弱の段階をフレイルという。このフレイルは、要介護状態に陥る危険性が高い反面、早期に適切な介入や支援を行うことにより、自立した生活を取り戻すこともできる可能性があり、本市としてもフレイル予防対策をとることが重要と考えている。



転ばぬ先の運動教室での体力測定

問 健康施策としてのフレイルチェックは。

答 市の健康施策として、さらにフレイルチェックを取り入れることや、健康ポイント付与対象事業となるよう、健康課とも協議し、事業の拡大推進を図っていきたいと考えている。

今後の投票所のあり方

問 投票所の設置基準は。

答 投票所は、各投票区ごとに1カ所設けることになっている。この投票区は、市選挙管理委員会が必要と認めるときは、投票区を設けることができる。

問 共通投票所の設置は。

答 現時点では時期尚早と考えている。

問 有権者の利便性の向上を図ることは。

答 特に、期日前投票についての充実を図っている。また、今後も期日前投票期間に、交通手段として、あい愛バスの利用料を無料にする予定である。

問 若年層の投票率向上施策は。

答 選挙管理委員会では、小学校や高校で「出前講座」や高校2校で模擬投票を実施し、主権者教育のなお一層の充実が必要と考えている。

連絡所長の職責

問 連絡所長の役割は。

答 地域の課題や要望をしっかりと担当課に伝え、対応できないことに対しても住民目線でできることを考え、提案することで市民満足度の高い住民サービスにつなげる役割があると考えている。



田口智子 議員

緊急時の女性活躍

問 地震が発生した場合、本市の上下水道はどのくらいの震度で停止してしまうか。

答 震度5弱相当以上の地震が発生した場合には市内各所で被害が発生し、給水や汚水処理ができなくなると考えられる。地盤の揺れ方によっては、小さな地震でも施設の破損等が起こる可能性も考えられるため、老朽化、耐震化対策を進めている。

問 本市の緊急時の仮設トイレ、簡易トイレ等の備蓄数は十分に足りていると考えられるか。

答 現在の簡易トイレ等の備蓄数は、南海トラフ地震の避難者数を想定した数である。内陸直下型地震が発生した場合では不足していると考えられるので、それに対応できる数の簡易トイレを整備していきたいと考えている。

問 現在の女性消防団員の募集状況は。また、どのような活動を期待するか。

答 現時点では問い合わせは1件で、加入には至って

いない。幼児等への防火教育、救命講習の指導、火災予防啓発活動、消防団行事への参加や、災害時の避難所等の運営等にも、女性目線での助言をお願いしたい。

必要個数も考えてみましょう！

1日にトイレに行く回数 × 家族人数
× 7日分 = _____ 個

トイレットペーパー、手指消毒の備えもお忘れなく！

断水。トイレ我慢
できますか？



あい愛バス

問 バス運賃のスマホ決済等の導入の考えは。

答 利用促進の為、また外国人観光客にも対応できるよう、5月頃のLINEペイ（スマホによる決済サービス）導入に向け準備している。コミュニティバスでのLINEペイ導入は全国で初となる見込みである。

問 あい愛バス懇談会参加者のアイデアの導入の考えは。

答 バスに乗るとポイントが貯まり、協力店で割引等が受けられるポイント特典、観光リフレッシュバスツアー、夏休みワクワクスタンプラリーなど、実現できるものは積極的に取り組んでいきたい。

市政一般に対する質問と答弁



永田徳男 議員

幼児・児童虐待

問 どのような手順で対応しているのか。

答 児童虐待は通報により発覚し、こども相談センターか家庭児童相談室に入る。その情報は、警察に全件報告され、警察と連携して対応できるようになっている。初期対応後、要保護児童対策地域協議会の実務者会議等で常に見守られている。

空き家対策

問 行政の強制執行などの手法はできないのか。

答 市として所有者に、危険性や助成制度の紹介、事故があった場合の責任、適切な管理などをお願いする文書を送付し、所有者や関係者に対策をお願いしている。それでも放置されてしまう危険な空き家は、順次、法的措置を講じる予定である。

原発事故の対応

問 東日本大震災での原発事故後、平成25年に「美

濃加茂市地域防災計画」が策定され、5年経った現在、その後の見直しはされているか。

答 言い回し等字句の追加修正は、県との防災計画の整合性を図るための見直しはあるが、本市の安全対策上での基準の変更はない。

問 模擬訓練等は、実施されたことがあるのか。

答 模擬訓練は行ってはいないが、テレビ会議での情報連携、通信回線での被害情報等の提供を行っている。

問 「水道水」の放射能汚染対策は大丈夫か。

答 現在、3カ月に1回検査をしてその情報を公開しており、万が一の場合も県としっかり連携して対応する。



原子力発電所から美濃加茂市までのおよその距離



牧田秀憲 議員

外国人材の受け入れ

問 深刻化する人手不足対策として、新たな在留資格制度の導入が予定されるなど外国人材の受け入れ拡大が見込まれるが、今後の取り組みは。

答 本市では、平成21年に「多文化共生推進プラン」を作成し、取り組みを行ってきた。今年4月に入管法の改正が行われ、外国人市民のさらなる増加や多国籍化など、新たな課題が出てくると予想される。新たな課題に対する取り組みのため、「みんなで一緒につくる共生のまちづくり」を基本理念とし、日本人市民と外国人市民がお互いの個性と能力を発揮できるよう、美濃加茂市の一員として、共に手をつなぎ、まちづくりを進めるため、「第3次多文化共生推進プラン」を作成し、さらなる多文化共生社会の実現を目指していく。

問 市内企業に、どれだけの外国人の方が雇用されているか。また、本市として把握しているのか。

答 昨年、外国人市民を対象に職業や勤務地などの

アンケート調査を実施した。その際には、市内企業・事業所を対象にした研修生や雇用されている外国人市民の調査はしていないため、現在、商工会議所と連携して「外国人雇用に関する調査」の準備を進めている。

多文化共生

問 今後の多文化共生の役割は。

答 地域の仲間になろうと努力する「がんばる外国人市民」を全力で応援し、外国人市民が地域の一員としての役割を果たし、日本人市民と共に力を合わせて、一緒に地域を支えることが、多文化共生に課せられた役割だと考えている。

国籍の違いを意識することなく新しいパートナーとして地域を活性化させる重要な人材として、「みんなで一緒につくる共生のまちづくり」を進めていきたい。また、「やさしい日本語」を活用していきたい。



外国人市民を対象にした生活講座

活動

ピックアップ

～若者委員会から 政策提言を受けました～

若者委員会が考える美濃加茂市のビジョンは、「若者が自ら主体的にまちづくりに関わり、卒業後も夢を実現できるまち美濃加茂」であり、若者委員会は若者とまちをつなぐ存在でありたいと考えています。

そこで、3月20日に美濃加茂市第二期若者委員会から市長及び議員に向けて、次の2つの政策提言を受けました。

- ①「若者と食で生まれる郷土への誇り」
- ②「若者への金融リテラシー教育」



議 会 日 誌 (主なもの)

2月		20日	若者委員会からの提言 議会改革特別委員会
1日	議会運営委員会 議会改革特別委員会 日本ライン議長協議会（可児市）	22日	市都市計画審議会
12日	給食センター運営委員会・物資選定委員会	23日	「中山道太田宿多目的広場」完成記念式典
14日	議会運営委員会 提出予定議案等説明会（～15日） 議会改革特別委員会	25日	可児市議会議員研修会（可児市） 美濃加茂商工会議所 通常議員総会
16日	県商工会議所青年部連合会 第16回岐阜県連大会美濃加茂大会	26日	議会だより編集委員会 市緑化推進協議会 市総合計画審議会
17日	こどもみらい園ぼらす竣工式	28日	可茂地域懇談会
19日	国民健康保険運営協議会	4月	
22日	議会運営委員会	1日	市職員辞令交付式
24日	市体育協会創立60周年記念式典等及び記念祝賀会	3日	議会だより編集委員会
26日	市議会第1回定例会（～3月20日） 新庁舎建設特別委員会 議会だより編集委員会 美濃加茂市・富加町中学校組合議会 定例会（富加町）	11日	東海市議会議長会 定期総会（津市）
28日	坪内逍遙博士をしのぶ会 市総合計画審議会	12日	議会だより編集委員会
3月		13日	市体育協会懇親会
1日	中濃地域農業共済事務組合議会 定例会（関市）	16日	健寿連合会 定期総会 新庁舎建設特別委員会 議会運営委員会 議会改革特別委員会
3日	消防ふれあいコンサート	17日	市青少年育成市民会議総会
8日	新庁舎建設特別委員会	19日	市未来のまちづくり委員会
10日	県自衛隊入隊・入校予定者激励会（岐阜市）	20日	自治会長研修会
11日	企業誘致推進委員会	23日	美濃加茂商工会議所女性会 通常総会 市総合計画審議会
16日	可茂聖苑新火葬場開場式典 国道41号上麻生防災（飛水峡街道）中心杭打ち式典（七宗町）	24日	美濃加茂商工会議所青年部 通常総会
18日	市木曽川右岸用水土地改良区総代会	25日	可茂食品衛生協会美濃加茂支部 通常代議員総会
19日	可茂地域一部事務組合議会 定例会	27日	社会福祉法人慈恵会創立30周年記念式典

議会だよりをリニューアルしました！

皆様により親しんでいただけるよう、今号から議会だよりをリニューアルしました。
リニューアル内容は、次の2点です。

- ① 「右開き・縦書き」形式のものを「左開き・横書き」形式に変更しました。
- ② 文字はユニバーサルデザインフォントとし、読みやすい書体に変更しました。

議会だよりに対するご意見やご感想がございましたら、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

美濃加茂市議会事務局 連絡先
T E L (0574) 25-2111 (内線281)
F A X (0574) 28-1106
メール gikaigoiken@city.minokamo.lg.jp



議会だより編集委員会の様子

本会議の様子は、議会中継で



市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。
議会の開催日にはライブ中継も行っています。
パソコン、スマートフォンやタブレット端末で
ぜひご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

次の定例会の予定

6月4日(火) 初日
13日(木) 一般質問
14日(金) 一般質問
17日(月) 質疑
25日(火) 最終日

場所：市役所本庁舎 3階 議場

時間：午前9時から

(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

平成が31年で幕を閉じ、いよいよ新しい元号「令和」がスタートいたしました。

私たち議員も平成最後の3月議会で、新年度予算を市民ファーストでしっかりと審議させていただきました。

一般質問では、新庁舎についての質問がなされ、多くの皆様にも傍聴いただき、新庁舎建設に向けての市民の皆様の関心の高さに議員一同、気を引き締めて審議していきたいと思っております。

令和の時代が皆様にとって希望にあふれる時代になりますようお祈り申し上げます。

田口 智子

第1回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、
加茂農林高校園芸流通科の
生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和元年8月1日を予定しています。

